

第4回 蛭澤先生 「大好きな東田直樹さんの本について」

蛭澤先生の趣味は読書。作家の「東田直樹さん」について教えていただきました。蛭澤先生が東田さんの本が好きなのは、日本語のリズムが美しく心地よく感じるからだそうです。



東田直樹さんは、中学校のときに作家デビューしました。「世界を変える30歳未満の30人」に選ばれた1人です。「大谷選手と並ぶ1人」と聞くと、そのすごさがよく分かりますね。

「ありがとう」と言われたら、何だか自分が役に立った気がしてうれしくなります。感謝されると、あなたがいてくれてよかったと言われたような気分になり、温かい気持ちになります。ほめられることより、「ありがとう」の言葉の方が心地いい時もあります。「ありがとう」はすごい言葉です。

東田さんは、自身が自閉症であり、その理解を広めようと本を出版しています。



自閉症という障害は、どこから来たのだろうと考えることがあります。自閉症は、人類が生み出したものではないでしょうか。何かのバランスが崩れているために、僕たちのような人間が必要だから、生まれてきたような気がします。治らない障害というものは、時代が僕らに何かを望んでいることがあって、僕らをこの世に誕生させたに違いない。

蛭澤先生からは、『東田さんの本からは、「いろいろな人が存在すること、自分の心を豊かにできるのは自分」ということが学べます。ぜひ、いろいろな本に触れてみてください。その中に「東田直樹さん」の本があればうれしいです。』というメッセージがありました。ぜひ、みなさんも、いろいろな本に触れてみてくださいね。

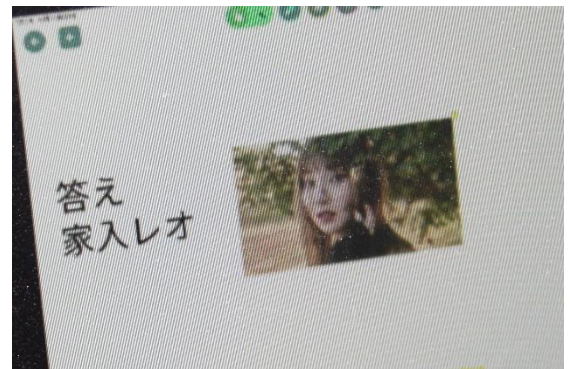
第5回鈴木知先生 「鈴木知己の三問クイズ」

(鈴木先生の秘密①)

鈴木先生は、小学校 4 年生からバレーボールを始め、小学校では東海大会優勝、中学校では地区の選抜チームに選ばれて、東海3位でした。ポジションはベンチで、応援かつピンチサーバーだったそうです。

(鈴木先生の秘密②)

大好きなアーティストは・・・



最後に、図書主任として、おすすめの本の紹介がありました。

みなさんも、ぜひ読んでくださいね。

